



# さくらんぼだより

5月号

平成30年5月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

自然との触れあいの中で…つくろう元気な身体！育てよう野菜！

入園、進級から、一ヶ月。新しい環境の中で、不安と緊張から泣いていた子どもたちですが、今では「あっ！アリだー！」「ダンゴむし〜！」と小さな虫探しに夢中になったり、土山を元気に駆け上ったり、下りたり、そして砂場では、どろんこあそびなどを楽しむ姿が多くなり、かわいい笑顔がたくさん見られるようになってきました。

子ども達の大好きなチューリップの花は、このところ続いた夏のような暑さで、アツという間に咲きそらい、子ども達を楽しませてくれましたが、あまりの気温の高さに、アツという間に花びらが落ちてしまいました。代わりに、園庭の樹々は柔らかな緑の葉を繁らせ心地よい木陰を作り、子ども達もその下で、保育士や友達とままごとなどを楽しむようになってきました。

でも、何といっても子ども達にとって一番興味のある場所は“小川”…。先日職員総出で小川の清掃をしたところ、ザリガニが数匹でてきて、きれいになったところで、また、小川に戻すと、大きい子達は、ザリガニ探しに夢中！なかなか捕まえることができず、その反動なのか、捕虫網で川の水をジャブジャブかき混ぜたり、石を投げ入れては水しぶきを楽しんでいました。

小川の周りは大きな石がゴロゴロおいてあり、滑って転倒したら…、と思うと、ハラハラドキドキですが、子ども達の興味を損ねないよう安全に配慮しながら、子どものもっている力を認め、信じ、一人一人の成長へつなげていきたいと思ひます。

食育にも力を入れている西多賀チェリー保育園、畑の土の耕しを終えて、各クラス、野菜作りの準備が始まりました。子どもたちの種まき、苗植えなどを通して野菜を育てる大変さ、収穫する楽しみ、そしてクッキングを通して食べる楽しみなどを体験し、やがては野菜が大好きな子どもたちになってくれることを願っています。

2018・5・1 園長 中館 和子



## お知らせ



### <保育参観・懇談会>

4月、スイミー組を皮切りにスタートした保育参観・懇談会。5月は2歳児クラスの懇談会、そして3歳児・4歳児クラスの保育参観・懇談会が行われます。保育参観では、園での様子を見て頂いたり、親子で簡単クッキングやわらべうたあそびなどをして、みんなで楽しめるものにしたと思います。午後の懇談会においては、園の方針でもある“共に子育て”を目指し、園での様子や家庭でのお子さんの様子などを伝えあいながら、みんなで一緒に子育てについて語り合いたいと思ひます。

- 5月11日(金) …… はらぺこあむし組 (4歳児)
- 5月23日(水) …… がらがらどん組 (3歳児)
- 5月29日(火) …… ぐりぐら組 (2歳児)
- 6月 7日(木) …… ノンタン組 (1歳児)
- 6月26日(火) …… いいおかお組(0歳児)



保育参観 9:00~12:30  
懇談会 13:00~15:00

\*クラスにより多少、時間が異なる事があります。詳細は後日お知らせ致します。  
**\*0~2歳児クラスは、懇談会の中でビデオで園の様子を見て頂きます。**

### <内科健診>

5月17日(木)15:00から園医の松本先生による内科健診があります。当日は、欠席のないようお願い致します。

## おねがい

### <名前の記入をして下さい>

名前が記入されていない持ち物(靴、オシボリ、衣類など)が多くあります。トラブルの原因にもなりますので、もう一度、**名前の記入の確認**をして下さい。

## 行事予定

5月		行事
日	曜日	
8	火	発育測定
11	金	4歳児保育参観・懇談会
15	火	誕生会・避難訓練
23	水	3歳児保育参観・懇談会
17	木	内科健診
29	火	2歳児懇談会

6月		行事
日	曜日	
5	火	発育測定
7	木	1歳児懇談会
8	金	防犯訓練
12	火	避難訓練
13	水	歯科健診
19	火	誕生会
22	金	夏まつり実行委員会
26	火	0歳児懇談会・手洗い指導
27	水	歯科健診(2回目)



先日、ある季刊誌を読んでいたところ、“遊びがヒトを人間にする”というタイトルが目に入ってきました。そこには、親から生まれたらみんなヒトであること、ただまだ人間ではなく、“ヒト”だけが持っている“いいもの”を大きく育てたヒトが人間であること、そして、その“いいもの”はたくさん遊ぶ事で大きくなる、とありました。例として、手や道具を使って、物を作るのが人間であり、色々な物を作る時には、子どもであっても、どうやったら楽しく遊べるか、どうやったら面白いものが作れるか考えたり、工夫したりする。そして、できないことを出来るようになるようと頑張ったりすることも人間だからこそのもの、として挙げていました。読み続けているうちに、チェリー保育園で日々実践している保育内容のように思いました。チェリー保育園の子ども達は、裸足でかけ回ったり、泥んこ遊び、虫探し、木登り等、自然いっぱいの中で、遊びまわっています。時には、こま回しや側転、そして自転車乗り等、ちょっと難しいことにも“やってみたい、できるようになりたい！”という思いから、頑張る気持ちが湧いたり、面白そう！と感じたりする心が育っています。また、友だちと一緒に遊ぶ中では、思い通りになることは少なく、悔しい思いをしたり、悲しくなったりすることもあり、子どもなりに色々な事を感じながら葛藤することもあります。でも、ここで言うヒトから人間へと育っているからこそ、感じる心が大きく育ち、相手の思いに気付き、ルールを守ることの大切さなども学んでいっているのではないかと思います。“おもしろそう！”“なんで？ふしぎだなあ・・・”等と感じ取る心が目覚めることで、自分でも“やってみよう！”とする気持ちが動き出し、次の行動へと移っていきます。これが“育ちの道筋”とも言われています。やる気がない！と嘆く前に、とことん興味関心の趣くままに遊びこませていきたいですね。



母と子の  
絵本 欄



「おやすみなさいのほん」 出版社 福音館  
 ぶん・マーガレット・ワイス・ブラウン え・ジャン・シャロー  
 やく いい ももこ

夜、鳥も魚も動物もみんな眠ります。「眠り」という自然の事が淡々と描かれ、「もの いえぬ ちいさな ものたちを おまもりください」という聖書を思わせるようなことばもあり、心がゆったりする絵本です。



「おおきな きがほしい」 出版社 偕成社  
 ぶん・さとう さとる え・むらかみ つとむ

「おおきな おおきな きが あるといいな ねえ おかあさん」で始まるお話…。子どもころ、登ることはできなかったけど、登ってみたいな～、或いは木登りが得意だったぞ！と、ついつい 思い出させてくれるような、子どもの夢そのものが描かれています。園庭で木登りを楽しんでいる子ども達を見ると、いつかきっと、と、こちら夢が膨らんでくるような思いになる絵本です

つきでた大脳をみがこう！

人間にのみ具わっている感覚器官(視覚、聴覚、味覚、臭覚、触角)そして、手、足、口は“つきでた大脳”と呼ばれています。このつきでた大脳は日々の生活、遊びを通して磨かれ、子どもの発達のための土台作りであると言われていています。子ども達を見ていると、目の前のものに関心を持ったその瞬間というものは、すぐに“これなんだろう？”という気持ちが動き、さわって、いじって、時にはなめてみたり、物によってはちょっと分解？という名の下、壊してみたり…。大人から見るとあ～あ！と思う事ばかりですが、常に、“つきでた大脳”を同時に動かしながら“かしこさ”に磨きをかけているように思います。“イタズラ”に思えることでも、子どもにとっては大切な土台作りであることを、しっかり、認めていきたいですね。

わらべうたであそぼう  
 ♪ つんぶんつんぶん ♪

つんぶんつんぶん まめつんぶん  
 からすというばか鳥に  
 ざっくりもったり さあされだ



二つぶん つんぶん  
 豆つんぶん つんぶん  
 からすという ばか鳥に  
 ざっくり もったり  
 別あきこ

♪ つんぶんつんぶん  
 2つのうち1つがなくなってもまだあるという希望がもてる。